お試し開店中　～若年性認知症カフェ～

昨年12月12日の午後、えんの森のリビングで『若年性認知症カフェ』が開店しました。10月10日のお試し第一回目に続いて第二回目でした。おなじみになった『認知症カフェ　えんの森』は、地域の方々と認知症のある方々が「知り合う」ことを目的にもうじき5年、おかげさまで毎回繁盛しています。こちらのカフェは、高齢の方とは違い体力もエネルギーもあり、少しのサポートがあれば能力を存分に発揮できる方々。その力を生かせる場があればと日時を変えてお試し開店しました。

デイホームえんや多機能ホームまどかの利用者で、若くして認知症を発症された方々がカフェの『ウェイター、ウェイトレスさん』。クリスマスも間近ということで、赤いサンタ帽をかぶって注文を聞いたり飲み物を運んだり大忙しです。『お客さん』は暮らしネット・えんのボランティアさんとスタッフがほとんどです。

「何たのまれたっけ･･･」「ウーン、どこかな」忘れてしまうことがあっても、「コーヒーとクッキーね」「ここよー」絶妙のタイミングでフォローが入ります。日頃はサービスする側のボランティアさん、「座っているだけだとお尻がムズムズする」と手伝いたそうでした。

家業の食堂を切り盛りしていたＡさんの動きは素早くむだなく、フロアーを移動していきます。ギターの得意なＢさんの弾き語りがＢＧＭ。ギターの音色にひかれて飛び入りで歌う『お客さん』の姿もありました。

そのうちに『ウェイター、ウェイトレスさん』の姿が見えないと見回すと『お客さん』の席に座って思い思いにくつろいでいました。そう、休憩も必要ですよね。二回目のカフェも和やかなうちに閉店しました。閉店後は今日のカフェを振り返ります。「なんだかわからなかったけど楽しかった」という感想が聞かれ、一回目の反省で用意したメモ帳はほぼ使われず「やっぱりいらないかな」と言うことになりました。

お試しを重ね地域に広がっていくことを願って、２月には第三回目の『若年性認知症カフェ』を開店します。少しずつ経験を積んで、お試しではなく、本格的に？開店しようと話し合っています。

まだ名前もないカフェですが、どうぞよろしくお願いします。

（多機能ホームまどか／海老沢美知代）